

年金加入記録回答票

再交付用

- ◎ この回答票は、今回お示しさせていただいた加入記録等をご確認いただき、「もれ」や「誤り」がある場合も、ない場合も、必ずご回答をいただく必要のある方にお送りしております。
 お手数をおかけいたしますが、必ずご回答をいただきますよう、お願いいたします。
- ◎ ご記入にあたっては、裏面の記入例を参考にさせていただき、必ず同封の返信用封筒によりご返送をお願いします。

1. はじめに、下の太枠内にご記入ください。（提出年月日 平成 年 月 日）

(フリガナ) 氏 名	照会番号											
	基礎年金番号											
	生年月日	昭和・平成	年	月	日	男・女						
現住所	〒				都道府県		市区町村					
電話番号	ご自宅 ()					ご自宅以外 ()						
代理人氏名						代理人連絡先 ()						
代理人住所												

2. お知らせした加入履歴や標準報酬月額等に「もれ」や「誤り」がありますか。
 （十分にご確認いただき、「もれ」や「誤り」がない場合には1に、「もれ」や「誤り」がある場合には2に〇を記入してください。）

1	「もれ」や「誤り」がない（→ 同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。） ※ 後日、新たな記録が見つければ、その時点で新たに記録の訂正が可能です。
2	「もれ」や「誤り」がある（→ 3. 4. にお進みください。）

3. お知らせした加入履歴に「もれ」や「誤り」がある場合は、追加すべき記録の内容や、修正すべき記録の内容をご記入ください。（わかる範囲で結構です。）

ア 該当番号	イ 加入制度	（フリガナ） ウ お勤め先の名称	エ お勤め先の所在地または国民年金に加入していた当時の住所	オ 勤務期間または国民年金加入期間	カ 年金手帳の記号番号 当時の旧氏名
	国 厚 船			年 月 日から 年 月 日まで	
	国 厚 船			年 月 日から 年 月 日まで	

4. お知らせした厚生年金保険等の標準報酬月額や国民年金の保険料納付状況に「誤り」がある場合は、該当する期間と「誤り」の具体的な内容をご記入ください。

※ ご記入いただいた内容を調査するため、1でご記入いただいた連絡先に、後日、管轄社会保険事務所よりご連絡させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

キ 制度	ク 「誤り」のある期間	ケ 「誤り」の具体的な内容
国 厚 船	昭和・平成 年 月から	
	昭和・平成 年 月まで	
国 厚 船	昭和・平成 年 月から	
	昭和・平成 年 月まで	
国 厚 船	昭和・平成 年 月から	
	昭和・平成 年 月まで	

（注）「年金加入記録回答票」に書ききれない場合には、お手数ですが別途便せん等にご記入ください。

「年金加入記録回答票」の記入例

年金加入履歴に「もれ」や「誤り」がある場合のご記入方法

ア欄…お知らせした記録に誤りがあると思われる場合は、該当する記録の番号（「これまでの『年金加入履歴』です」の加入記録の①欄の番号）を記入してください。追加の場合は空欄で結構です。

イ欄…加入していた制度を○で囲んでください。

ウ欄…お勤め先の名称（本社、支社、本店、支店、営業所、工場等の名称について）をできるだけ詳しく記入してください。

国民年金の場合は記入の必要はありません。

エ欄…お勤め先の本社、本店等の所在地をできるだけ詳しく記入してください。わからない場合は市区町村名でも結構です。

国民年金の場合は、当時の住所をできるだけ詳しく記入してください。

オ欄…勤務期間または国民年金の加入期間を記入してください。詳しくわからない場合は、「〇〇年〇〇月頃」または「〇〇年の春(夏秋冬)頃」といった記入でも結構です。

カ欄…

・当時の「年金手帳」または「厚生年金保険被保険者証」をお持ちの方は「記号番号」を記入してください。わからない場合は、省略しても結構です。

・婚姻・養子縁組などで氏名が変わる前の記録がもれている場合には、旧氏名をご記入ください。

年金加入記録回答票

再交付用

◎ この回答票は、今回お示しさせていただいた加入記録等をご確認いただき、「もれ」や「誤り」がある場合も、ない場合も、必ずご回答をいただく必要のある方にお送りしております。
お手数をおかけいたしますが、必ずご回答をいただきますよう、お願いいたします。
◎ ご記入にあたっては、裏面の記入例を参考にしていただき、必ず同封の返信用封筒よりご返送をお願いします。

1. はじめに、下の太枠内にご記入ください。（提出年月日 平成27年 4月 20日）

(フリガナ) 氏名	ネキン ハナコ		照会番号	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2
	年金 花子		基礎年金番号												
生年月日	昭和 平成 25 年 4 月 2 日		性別	男											
現住所	〒 1 8 1 - 9 9 9 9 東京 杉並 区 高井戸南7-14-21		郵便番号	1 8 1 - 9 9 9 9											
電話番号	ご自宅 03 (0000) 0000		ご自宅以外	()											
代理人氏名			代理人連絡先	()											

2. お知らせした加入履歴や標準報酬月額等に「もれ」や「誤り」がありますか。
（十分にご確認いただき、「もれ」や「誤り」がない場合には1に、「もれ」や「誤り」がある場合には2に○を記入してください。）

1	「もれ」や「誤り」がない（→同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。） ※ 後日、新たな記録が見つければ、その時点で新たに記録の訂正が可能です。
2	「もれ」や「誤り」がある（→3、4.に進みます。）

3. お知らせした加入履歴に「もれ」や「誤り」がある場合は、追加すべき記録の内容や、修正すべき記録の内容をご記入ください。（わかる範囲で結構です。）

ア 該当番号	イ 加入制度	エ (フリガナ) ウ お勤め先の名称	エ お勤め先の所在地または国民年金に加入していた当時の住所	オ 勤務期間または国民年金加入期間	カ 年金手帳の記号番号 当時の旧氏名
	国 船	タカド カブシキガイシャ 高井戸株式会社	東京都杉並区 高井戸6-5-4	昭和59年 4月 1日から 昭和60年 3月 31日まで	1234-555555 鈴木 花子
1	厚 船		東京都渋谷区 社保町1-2	昭和62年 4月 1日から 昭和63年 8月 31日まで	

4. お知らせした厚生年金保険等の標準報酬月額や国民年金の保険料納付状況に「誤り」がある場合は、該当する期間と「誤り」の具体的な内容をご記入ください。
※ ご記入いただいた内容を調査するため、1でご記入いただいた連絡先、後日、管轄社会保険事務所よりご連絡させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

キ 制度	ク 「誤り」のある期間	ケ 「誤り」の具体的な内容
厚 船	昭和 平成 50 年 4 月から 昭和 平成 51 年 3 月まで	左記の期間について未納となっているが納付していた。 (当時の住所)東京都杉並区高井戸6-10-9 (当時の年金手帳の記号番号) 1234-555555
国 船	昭和 平成 60 年 4 月から 昭和 平成 61 年 3 月まで	左記の期間について標準報酬月額が異なっている。 額45,000→昭和60年4月～9月までの月給は約240,000円だった。 昭和60年10月から昭和61年3月までの月給は約260,000円だった。
国 厚	昭和 平成 年 月から	
船	昭和 平成 年 月まで	

(注)「年金加入記録回答票」に書ききれない場合には、お手数ですが別途便せん等にご記入ください。

太枠内についてご記入ください

氏名、生年月日、性別、現住所、電話番号、照会番号をご記入ください。
（照会番号をご存知でない場合には、基礎年金番号をご記入ください。）

お届けした氏名・生年月日・住所が異なっている場合には、お手数ですが、

- ◆厚生年金に加入している方は、勤務先の事業所へ
 - ◆国民年金に加入している方は、
 - ・自営業・学生の方など（第1号被保険者）は、お住まいの市区町村役場へ
 - ・厚生年金・共済組合に加入している方の配偶者（第3号被保険者）は、配偶者の勤務先の事業所へ
- 変更のお申し出をお願いします。

代理人について

ご本人が病氣、ケガなどにより記入できず、代理の方がこの回答票を記入された場合に、ご記入ください。

標準報酬月額や国民年金の納付状況に「誤り」がある場合のご記入方法

キ欄…標準報酬月額に訂正があり、厚生年金保険の加入期間の場合は「厚」、船員保険の加入期間の場合は「船」に○を付けてください。
国民年金の納付状況の訂正の場合には「国」に○を付けてください。

ク欄…「誤り」があると思われる記録の該当期間を記入してください。詳しくわからない場合には、「〇〇年〇〇月頃」または「〇〇年の春(夏秋冬)頃」といった記入でも結構です。

ケ欄…「誤り」の内容について、できるだけ詳しく記入してください。（標準報酬月額の訂正の場合には、当時、実際に受け取っていた月給額等、国民年金の納付状況の訂正の場合には、当時の住所や当時の年金手帳の記号番号等についてご記入願います。）